

東海市	所属議員	工藤政明
-----	------	------

産業目線

【活動選定項目】	①カーボンニュートラル(CN)への対応															
具体的取り組み項目	次世代自動車を核とした脱炭素に向けた具体的な取組の推進や施策の立案を行う。 項目① 市が保有する 公用車に対する次世代自動車の導入割合 を高める。 【目標 2030年度までに3割】 項目② 公共施設への 電気自動車充電設備の拡充と市民への開放 を行う。 【目標 2030年度までに市民開放設備を設置】 項目③ 次世代自動車の普及や活用を促すための啓発や購入の誘因策 を具体化する。 【目標 2030年度までに制度化】															
前回まで 活動状況	○温室効果ガス排出量削減の取組について、これまでと今後の考えを関係部署から意見聴取。(2021年8月) ○カーボンニュートラルへの対応を含めた「地球温暖化対策の取組」を題材に現状の把握として一般質問を実施。(2021年9月) ○新年度(令和4年度・2022年度) 予算への反映を要望する要望書を市長へ提出 (2021年9月) ○ 東海商工会議所との行政情報交換会 を開催 (2021年10月) ○ 新年度当初予算編成の進捗状況に関する意見聴取 (2022年1月・2月)															
今回 具体的活動	○関係部署からの意見聴取を定期的 に実施 (2022年5月・6月) 一般質問以降の進捗を確認 次世代自動車の導入や活用の促進の考え 取り組み項目① <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 【質問】市が保有する公用車に対する次世代自動車導入の将来像はどのような [答弁] <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 20%;">将来像</td> <td>使用用途と費用対効果を考慮し、可能な限り導入を進めたい</td> </tr> </table> </div> 新年度予算編成後の進捗 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; margin: 5px 0;"> <tr> <td style="width: 20%;">2022年度計画</td> <td> 今年度はガソリン車5台(A～D)の更新計画を立案 更新方法 ガソリン車A B C D → 軽乗用電気自動車 A B C D ガソリン車E → 小型貨物ハイブリッド車 E </td> </tr> </table> 新年度予算編成後の進捗を確認 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; margin: 5px 0;"> <tr> <td style="width: 30%;">地球温暖化対策実行計画 (区域施策編) 策定を協議する 会議体の設置動向</td> <td style="width: 10%;">構成</td> <td>学識経験者、事業者、業界団体、行政関係者、市民</td> </tr> <tr> <td></td> <td>協議内容</td> <td> ①市内の特性を踏まえた温室効果ガス排出量の推計 ②推計結果を踏まえた将来ビジョンや削減目標の設定 ③市全体の再エネポテンシャル ④将来のエネルギー消費量を踏まえた再エネ導入目標値 </td> </tr> </table>	将来像	使用用途と費用対効果を考慮し、 可能な限り導入 を進めたい	2022年度計画	今年度は ガソリン車5台 (A～D)の更新計画を立案 更新方法 ガソリン車A B C D → 軽乗用 電気自動車 A B C D ガソリン車E → 小型貨物 ハイブリッド車 E	地球温暖化対策実行計画 (区域施策編) 策定を協議する 会議体の設置動向	構成	学識経験者、 事業者 、業界団体、行政関係者、市民		協議内容	①市内の特性を踏まえた 温室効果ガス排出量の推計 ②推計結果を踏まえた 将来ビジョン や削減目標の設定 ③市全体の 再エネポテンシャル ④将来のエネルギー消費量を踏まえた 再エネ導入目標値	【図や活動の様子が分かる写真など】 これまでの取り組み ○2021年9月議会一般質問  ○第1回定例会(3月議会)で議決した 令和4年度(2022年度)当初予算(抜粋) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; margin: 5px 0;"> <tr> <td style="width: 60%;">事業項目</td> <td>前年度比較</td> </tr> <tr> <td>地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)策定事業 総事業費 10,244千円</td> <td>新規計上</td> </tr> </table>	事業項目	前年度比較	地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)策定事業 総事業費 10,244千円	新規計上
将来像	使用用途と費用対効果を考慮し、 可能な限り導入 を進めたい															
2022年度計画	今年度は ガソリン車5台 (A～D)の更新計画を立案 更新方法 ガソリン車A B C D → 軽乗用 電気自動車 A B C D ガソリン車E → 小型貨物 ハイブリッド車 E															
地球温暖化対策実行計画 (区域施策編) 策定を協議する 会議体の設置動向	構成	学識経験者、 事業者 、業界団体、行政関係者、市民														
	協議内容	①市内の特性を踏まえた 温室効果ガス排出量の推計 ②推計結果を踏まえた 将来ビジョン や削減目標の設定 ③市全体の 再エネポテンシャル ④将来のエネルギー消費量を踏まえた 再エネ導入目標値														
事業項目	前年度比較															
地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)策定事業 総事業費 10,244千円	新規計上															
今後の活動	○関係部署からの意見聴取を定期的に行うことで、 温室効果ガス排出量削減の取組状況 (進捗や課題、国や県の動き等)を把握する。(随時) ○地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定を協議する会議体の動向を注視する。 市内事業者がどのように関わるのか を注視する。															